

## 回答様式（高速自動車国道の料金割引に関する意見について）

- ・ 「今後の有料道路のあり方研究会」において検討中の「日本道路公団における高速自動車国道の料金割引の考え方（案）」に関する下記の各項目について、ご意見をご記入下さい。

都道府県・政令市名	岡山県
1. 料金割引の基本的方向性 (1) 割引の還元のあり方 (2) 割引率や対象時間の考え方 (3) 割引対象車両について	
<p>本年1月から3月に、山陽道の岡山IC～岡山総社IC間で通行料金を半額に割引く社会実験を行ったところ、交通量がほぼ2倍になるとともに並行する国道180号での渋滞が緩和するなど良好な結果が得られた。</p> <p>高速道路の利用促進は、一般道路の渋滞緩和、沿道環境の改善対策等としても望ましいことであり、地域のニーズに応じて割引時間帯や割引区間を設定した弾力的な割引制度の実施が望まれる。</p> <p>また、割引対象車両については、ETCの普及率が低い現状を踏まえ、ETCを使えない利用者への配慮もいただきたい。</p>	
別納割引に代わる大口・多頻度利用者割引のあり方	
<p>不正利用の誘発や一般利用に比べて大きな割引率が適用されることに対する不公平感が指摘されている別納割引制度が廃止され、新たに高速道路の大口利用者に対して一般利用者との公平性に配慮した、マイレージ制度など利用度合いに応じた割引制度が創設されることは望ましいと考えられる。</p> <p>ただし、国民生活や地域経済を支える物流事業者については、実質従来並みの割引率が確保されることも重要である。</p>	

### 3. 具体的な割引内容（案）

#### （1）割引内容（案）

#### （2）割引結果

県南の国道2号などの幹線道路は、通勤時間帯に限らず慢性的な渋滞が発生している。今後、並行する一般道路の渋滞緩和が図られる区間において、地域のニーズに応じて対象時間や割引率を設定した柔軟な料金割引を実施し、高速道路の利用促進と一般道路の渋滞緩和を図りたい。

あわせて、地域振興・観光振興の観点から本州四国連絡道路を含めた広域的な企画割引チケット（例えば「周遊型割引」等）の導入を検討して頂きたい。

### 4. 継続的な効果測定並びに適時適切な見直し

公団（会社）においては、今後とも利用促進や経費節減などの経営努力を図り、継続的にその効果を測定し、高速道路の利用や一般道路の渋滞状況など地域の実情に応じた適切な料金見直し及び割引制度の検討を進められたい。

※その他の意見

- ・その他、料金割引等に関してご意見がございましたら、以下にご記入下さい。

本州四国連絡道路は全国の高規格幹線道路網を構成する重要路線で、地域振興、観光振興等の観点から、その利用促進を図ることが必要であり、本州四国連絡道路についても新たな割引制度（例えば「大型車の夜間割引」「乗用車の週末・祝日割引」等）をぜひ導入して頂きたい。

- ・ご回答いただきまして、大変ありがとうございました。